

実習全般は基本的には予想通りの内容でした。授業や指導案、特別活動など多くのことに関わりました。一つだけ予想外だったのが、道徳の授業をしたことです。道徳の授業の作り方は授業で習っていましたが、各個人で工夫してしなさいと言われたので、個性を出すためにどのようにすればいいのか悩んだ結果、大学の勉強でした、人的災害の分野であるヒューマンエラーの授業を応用した授業を行いました。思っていたよりは生徒は真剣に聞いてくれていたのでよかったかなと思います。内容としては、教室内の生徒を半分ずつに分けて、それぞれ別のプリントを配ります。片側はAさん目線、もう片側はBさん目線で、同じ場面ながら人によって考えていることにすれ違いが起ってしまうという内容で作りました。この授業を通してコミュニケーションの大切さや、相手を思いやる気持ちなどを学ばせました。感想文は回収し、全て読んだ後返却しました。この授業の反省点は、班分けがややこしく（何回か編成しなおすため）生徒への説明が難しかった点です。黒板に図は書きましたが、時間がかかりました。事前に模造紙などに書いておいてもよかったかもしれません。

授業や指導案については指導教諭の先生がとてもしっかりした方で、授業直前まで何回もペン入れをしてくださいました。ただ、ペン入れの内容の修正と、プリントの作成、小テストの採点、パワポの作成、板書案の作成など多くの業務に追われ、ずっとあたふたしていたように思います。指導案はある程度先に作っていたのですが、全く役に立たず困りました。私の想像していた仕方では全く歯が立たないということがよくわかりました。そこで、授業をしながらどのような授業が最も生徒にとって分かりやすいか検証するために授業スタイルを変えながら、全5回の授業を行いました。その結果、板書とパワポ、プリントを組み合わせたスタイルが私にとっては、一番良いということがわかりました。グループワークはしない方が良いでしょうに思いました。なぜなら、全員に目を行き届かせることが難しいなどの課題があるからです。

特別活動は、あまり活動していなかったように思いました。総合の時間や特別活動に時間はこの後に書く学校行事の説明会の時間となっていたように思います。

学校行事は、3年生が修学旅行、2年生が遠足、1年生が一泊移住をしていました。私はどれにも参加はしていませんが、説明会やお迎えには参加しました。子供たちに怪我がないよう先生方がとても緊張されていたように感じました。普段と違う生徒の一面も見ることができて見学出来て良かったです。

生徒との交流は特に問題はなかったかと思います。クラスのメンバーはもともととても仲のいい子たちで、先生の話もよく聞いてくれます。ですから、大きく何かを注意することもなく、また、私が迎合しすぎるような事態が起こることもなく問題なく終わることができました。ただ、クラス運営は時間に追われる日々の中でこなすのはとても大変でした。

いろいろあった実習ですが、多くの貴重な体験をでき、とても良い経験となりました。